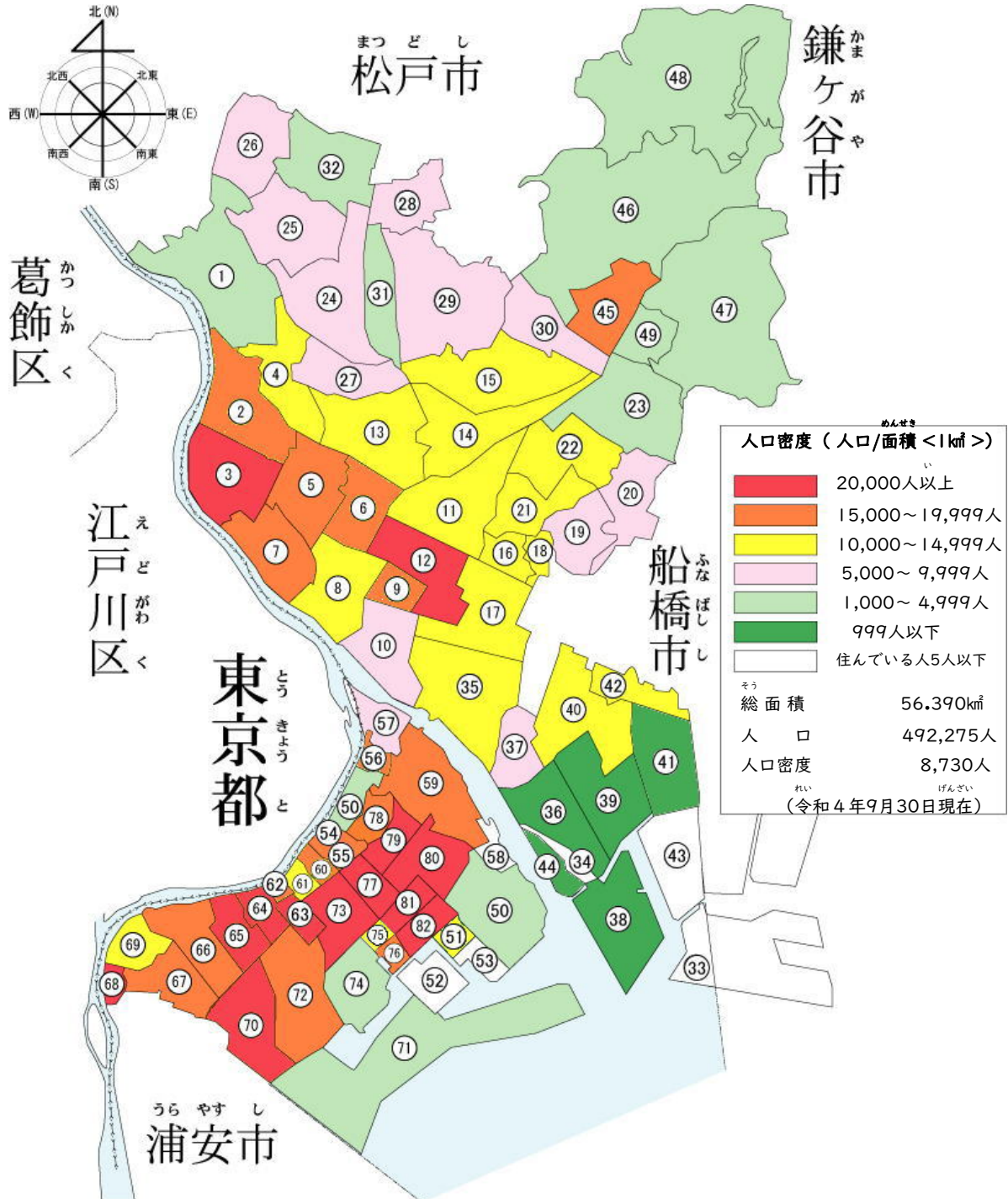


◆市川市の町名と人口密度

| 町名 | 町名 | 町名 | 町名 |
|---------|----------|-----------|------|
| ①国府台 | ⑭国分 | ⑳柏井町 | ㉓南行徳 |
| ②市川 | ⑮中国分 | ㉑大町 | ㉔塩浜 |
| ③市川南 | ⑯北国分 | ㉒奉免町 | ㉕福栄 |
| ④真間 | ㉑須和田 | ㉓本行徳 | ㉖行徳駅 |
| ⑤新田 | ㉒稲越 | ㉔加藤新田 | ㉗新浜 |
| ⑥平田 | ㉓曾谷 | ㉕千鳥町 | ㉘入船 |
| ⑦大洲 | ㉔下貝塚 | ㉖高浜町 | ㉙日之出 |
| ⑧大和田 | ㉕東国分 | ㉗関ヶ島 | ㉚末広 |
| ⑨東大和田 | ㉖堀之内 | ㉘伊勢宿 | ㉛本塩 |
| ⑩稲荷木 | ㉗東浜1丁目 | ㉙下新宿 | ㉜富浜 |
| ⑪八幡 | ㉘田尻 | ㉚河原 | ㉝塩焼 |
| ⑫南八幡 | ㉙田尻1～5丁目 | ㉛下妙典 | ㉞宝 |
| ⑬菅野 | ㉚高谷 | ㉜妙典 | ㉟幸 |
| ⑭東菅野 | ㉛高谷1～3丁目 | ㉞押切 | |
| ⑮宮久保 | ㉜高谷新町 | ㉟湊 | |
| ⑯鬼越 | ㉝原木 | ㊱湊新田 | |
| ⑰鬼高 | ㉞原木1～4丁目 | ㊲湊新田1～2丁目 | |
| ⑱高石神 | ㊱二俣 | ㊳香取 | |
| ㉑中山 | ㊲二俣1～2丁目 | ㊴欠真間 | |
| ㉒若宮 | ㊳二俣新町 | ㊵相之川 | |
| ㉓北方 | ㊴上妙典 | ㊶新井 | |
| ㉔本北方 | ㊵南大野 | ㊷島尻 | |
| ㉕北方町4丁目 | ㊶大野町 | ㊸広尾 | |

参考：
市川市役所資料

あなたの住んでいる地いきのようすはどうですか？
ほかの地いきとくらべてみましょう。



◆市川市のうつりかわり

| 時代 | 明治時代 | | | | |
|----------|-------------------------|-------------------------------------|--|----------------------|---|
| 年 | 一八七五 (明八) | 一八八五 (明一八) | 一八九五 (明二八) | 一九〇五 (明三八) | 一九〇七 (明四〇) |
| 主なできごと | | 国府台に軍たいがおかれた (明治一九) | 市川町・八幡町・行徳町・中山村・五常村(国分村)・大柏村・南行徳村がたん生した。 (明治二二) | | |
| 人々のくらし | このころ、さかえていたのは行徳のあたりだった。 | 行徳で塩作りが行われていた。中山が法華経寺の門前町としてさかえていた。 | 国分でぶどう作りがはじまった。八幡で梨作りがさかんに行われていた。 | 南行徳でのりを作りはじめた。 | 市川に発電所ができ、真間と国府台で電とうがはじめてついた。 |
| 学校 | 中山小・南行徳小ができた。 (明治七) | 中山小・国分小・大柏小・八幡小ができた。 (明治八) | 中山小のもとになる学校ができた。 (明治九) | 信篤小ができた。 (明治二九) | |
| そのほか(交通) | 蒸気船が江戸川をとった。 (明治一〇) | 東京と成田の間に乗合馬車がおった。 (明治一六) | 市川と佐倉の間に、はじめて鉄道がしかれ市川駅ができた。 (明治二七) | 下総中山駅ができた。 (明治二八) | 京成電鉄がはじめて、江戸川と真間の間をとり、京成国府台駅と真間駅ができた。 (明治四三) |
| 人口(人) | | | | | |

| <div style="text-align: center;"> <small>たいしょう</small> 大正時代 </div> | <div style="text-align: center;"> <small>しょうわ</small> 昭和時代 </div> |
|---|---|
| <div style="text-align: center;"> 一九一五 (大四) </div> | <div style="text-align: center;"> 一九四五 (昭二〇) </div> |
| <p>大つなみで行徳・南行徳が大きなひがいをうけた。 (大正六)</p> <p>江戸川放水路ができた。 (大正八)</p> <p>関東大しんさいがおきた。 (大正一二)</p> | <p>国府台運動公園ができた。 (昭和二五)</p> <p>大柏村が市川市といっしょになった。(昭和二四)</p> <p>市川にも空しゆうがあった戦争がおわった。 (昭和二〇)</p> <p>太平洋戦争がはじまった。台風で真間川がはらんした。 (昭和一六)</p> <p>市川町・八幡町・中山町・国分村がいつしよになって市川市となった。 県内3番目(昭和九)</p> |
| <p>市川にはじめて水道がひかれた。</p> | <p>戦争によって家がやかれたり、こわされたりした人たちが東京からうつり住むようになった。</p> <p>行徳の塩作りがなくなった。</p> |
| <p>宮田小ができた。(昭和二五)</p> <p>市川・真間・中山・八幡・国分・南行徳の各小学校で学校給食を開始した。 (昭和二三)</p> <p>一中・二中・三中・四中・第五中のもとになる学校・第七中のもとになる学校が新制中学としてできた。 (昭和二二)</p> <p>昭和学院ができた。(昭和一五)</p> <p>真間小・日出学園ができた。 (昭和九)</p> <p>国府台女子学院ができた。 (大正一五)</p> | <p>国電本八幡駅と京成鬼越駅ができた。(昭和一〇)</p> <p>国電が両国と市川・船橋の間とおった。(昭和八)</p> <p>京成バスがはじめて国府台と船橋の間とおった。(昭和三)</p> |
| <p>人車鉄道がなくなった。(大正六)</p> <p>京成菅野駅、京成八幡駅、京成中山駅ができた。(大正四)</p> | <p>一〇〇〇〇〇 (昭和二四)</p> <p>八五〇〇〇 (昭和二二)</p> <p>五八〇〇〇 (昭和一五)</p> <p>四〇〇〇〇 (昭和九)</p> <p>三八〇〇〇 (昭和五)</p> <p>三〇〇〇〇 (大正一四)</p> |
| <div style="text-align: center;"> 一八八八八 (大正九) </div> | <div style="text-align: center;"> 一〇〇〇〇〇 (昭和二四) </div> |

| 時代 | しょう わ 昭 和 時 代 | | | | |
|----------|---|--------------------------|--------------------------------|------------------------|--|
| 年 | 一九五五 (昭三〇) | | 一九六五 (昭四〇) | | 一九七五 (昭五〇) |
| 主なできごと | 行徳町が市川市といっしょになった。(昭和三〇) | 南行徳町が市川市といっしょになった。(昭和三一) | 台風で真間川があふれ真間や菅野がひがいをうけた。(昭和三二) | 行徳海岸のうめ立てがはじまった。(昭和三四) | アメリカのゲーテナ市と姉妹都市となる。(昭和三七) 終末処理場・市川考古博物館ができた。(昭和四七) |
| 人々のくらし | このころ新田でいちご作りがさかんにおこなわれていた。 行徳にも住たくや大きなマンションがたつようになった。 大野・大町で梨作りがさかんにおこなわれるようになった。 行徳のうめ立て地に大きな工場がたてられるようになった。 | | | | |
| 学校 | 平田小ができた。(昭和二八) 若宮小・国府台小ができた。(昭和二七) 富貴島小ができた。(昭和二六) | 稲荷木小・鬼高小ができた。(昭和三一) | 菅野小・第六中・市立ようご学校ができた。(昭和三二) | 第七中ができた。(昭和三七) | 新井小・南新浜小・大野小・東国分中ができた。(昭和五五) 柏井小・大洲小・幸小・下貝塚中・福栄中・高谷中ができた。(昭和五四) 富美浜小ができた。(昭和五三) 百合台小ができた。(昭和五二) 新浜小ができた。(昭和五〇) 北方小ができた。(昭和四九) 大町小ができた。(昭和四八) 中国分小・曾谷小ができた。(昭和四七) 二俣小ができた。(昭和四五) 宮久保小ができた。(昭和四三) 鶴指小・第八中ができた。(昭和四二) |
| そのほか(交通) | 武蔵野線が開通し市川大野駅ができた。(昭和五二) 湾岸道路ができた。(昭和五三) 総武線が複々線になり快速が走るようになった。(昭和四七) 地下鉄東西線が開通し、行徳駅ができた。(昭和四四) 京葉道路ができた。(昭和三五) | | | | |
| 人口(人) | 一三〇〇〇〇 (昭和三〇) | 一四〇〇〇〇 (昭和三一) | 一六〇〇〇〇 (昭和三五) | 二〇〇〇〇〇 (昭和四〇) | 二六〇〇〇〇 (昭和四五) 三四〇〇〇〇 (昭和五二) |

| 昭和時代 | 平成時代 | |
|---|--|--|
| <p>一九八五 (昭六〇)</p> | <p>一九九〇 (平二)</p> | <p>二〇〇〇 (平一二)</p> <p>二〇〇〇 (平一二)</p> <p>二〇一〇 (平二二)</p> |
| <p>中国の樂山市と友好都市になった。台風で須和田や東国分が大水のひがいをうけた。(昭和五六)</p> | <p>メディアパーク市川・市川市クリーンセンターができた。(平成六)</p> <p>インドネシアのメダン市と姉妹都市になった。塩浜体育館ができた。自然博物館ができた。(平成元)</p> <p>市川市文化会館・動植物園ができた。(昭和六〇)</p> <p>市民プール・少年自然の家・市川歴史博物館ができた。(昭和五七)</p> | <p>東京外かく環状道路が開通した。(平成三〇)</p> <p>東日本大しんさいがおきた。(平成二三)</p> <p>市川駅南口地区の再開発が完了した。(平成二二)</p> <p>ドイツのローゼンハイム市とパートナーシティとなった。大洲防災公園ができた。(平成一六)</p> <p>市川市リハビリテーション病院ができた。(平成一〇)</p> <p>阪神・淡路大しんさいがおきた。(平成七)</p> |
| <p>大野あたりに住たくやマンションがふえはじめた。</p> <p>根本排水機場ができた。</p> | <p>南行徳にも住たくやマンションができてきた。</p> <p>妙典にも住たくやマンションができてきた。</p> | <p>義務教育学校塩浜学園ができた。(平成二八)</p> <p>須和田の丘支援学校稲越校舎ができた。(平成二〇)</p> <p>第七中が新しくなり、保育・介護・公会堂施設がいつしよにできた。(平成一六)</p> <p>妙典小ができた。(平成一一)</p> |
| <p>塩焼小・稲越小・塩浜小ができた。(昭和五六)</p> <p>大和田小ができた(昭和五八)</p> <p>大洲中・塩浜中ができた。(昭和五七)</p> | <p>妙典中ができた。(昭和六三)</p> <p>福栄小・南行徳中ができた。(昭和六〇)</p> <p>京葉線が開通し、二俣新町・市川塩浜駅ができた。(昭和六三)</p> <p>国鉄がJRとなった。(昭和六二)</p> <p>地下鉄新宿線本八幡駅ができた。(平成元)</p> | <p>京成電鉄が北総線開発鉄道経由で成田空港につながった。(平成二二)</p> <p>地下鉄東西線妙典駅ができた。(平成一一)</p> <p>北総開発鉄道が開通し、北国分駅・松飛台駅・大町駅ができた。(平成三)</p> <p>京葉線が東京駅へ乗り入れるようになった。(平成二)</p> |
| <p>地下鉄東西線南行徳駅ができた。(昭和五六)</p> | <p>四一〇〇〇〇 (昭和六二)</p> | <p>四八〇〇〇〇 (平成二九)</p> <p>四七〇〇〇〇 (平成一九)</p> <p>四六〇〇〇〇 (平成一四)</p> <p>四四〇〇〇〇 (平成六)</p> <p>三七〇〇〇〇 (昭和五六)</p> |

| | | |
|----------|--|--|
| 時代 | 令和時代 | |
| 年 | 二〇二〇 (令二〇) | |
| 主なできごと | | |
| 人々のくらし | | |
| 学校 | 小中一貫型小学校・中学校 信篤三つ葉学園がスタートした。(令和四) 小中一貫型小学校・中学校 東国分爽風学園がスタートした。(令和三) | |
| その他か(交通) | | |
| 人口 | 四九〇〇〇〇 (令和二) | |